

(別紙4(2))

事業所名:グループホームこうほく

## 目標達成計画

作成日:平成22年4月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】				
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議では参加メンバーも少なく、地域や家族の参加者も固定的でマンネリ化している。	参加者のマンネリ化を改善し、多数の方に出席してもらえるようにする。	・会議の内容の変更・改善(開催ごとにテーマを決める・地域包括の方にも依頼する)。 ・地域の参加者の見直しを図る(民生委員・婦人部・中学校の先生・地域の組長など)。 ・運営推進会議のご案内を送付する際に、個人に合った文面で送付する。 12ヶ月
2	5	現在、市町村担当者と連絡・情報交換が出来るのは、地域包括支援センターの職員のみである。	市町村担当者に入居者や、家族の要望等を伝え、協力してもらえる関係作りを図る。	・岡山市の介護保険課にも、案内を送付し参加を呼び掛ける。 ・岡山市の公共施設にもグループホームを理解してもらう。 ・消防署にも引き続き講習してもらう。 ・地域包括支援センターの方にも、出席だけでなく、家族等の要望等を提示し、議題とする。 ・近くの公民館とも情報交換を図る。 12ヶ月
3	36	入居者一人ひとりの尊重とプライバシーの確保は、日頃より心掛けているものの、マンネリ化しつつある。	誰が聞いても、気持ちの良い、声かけ・対応を図り、利用者が穏やかに安心して生活が送れるようにする。	・カンファレンスを定期的に行い、職員同士で注意し合い、受け入れることができる環境を整え、意識を統一する。 ・入居者一人ひとりの自己決定を大切にされた対応をする。 12ヶ月
4				ヶ月
5				ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。